

2025 年 10 月 15 日

各位

リョーサン菱洋ホールディングス株式会社
(コード：167A、東証プライム)
菱洋エレクトロ株式会社

菱洋エレクトロ、製造業向け欧州サイバーレジリエンス法対応 オールインワンソリューションの提供開始

～アンケート結果で明らかになった「何から始めればよいか分からない」現場の声に応える～

エレクトロニクス商社の菱洋エレクトロ株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長執行役員：中村 守孝、以下「菱洋エレクトロ」）は、製品のサイバーセキュリティ確保を製造者に義務付ける欧州サイバーレジリエンス法（以下、「欧州 CRA」）の成立に伴う取り組みをサポートする「欧州 CRA 対応オールインワンソリューション」（以下、「本サービス」）の提供を開始いたしました。

RYOYO

欧州サイバーレジリエンス法対応 オールインワンソリューション



■ 本サービス提供の背景

近年、欧州 CRA や米国サイバーセキュリティラベリング制度をはじめ、主要各国において製品に対するサイバーセキュリティの法整備が進んでおり、国際的に事業展開する製造事業者はこれらの動向を踏まえた対応が求められています。

菱洋エレクトロが実施した、自社プロダクトのサイバーセキュリティに関する WEB アンケートでは、欧州 CRA に対し「何から始めればよいか分からない」や「法規制への情報整理が困難」

といった声が多く、現場では対応に苦慮している実態が浮き彫りになりました。法制度への対応には、情報の整理と理解を支援する仕組みが不可欠です。

■ 本サービス概要

このような背景・課題を考慮し、本サービスでは3つの支援メニューを通じて、お客様のサイバーセキュリティ対策をサポートします。

● サイバーレジリエンス構築支援サービス

欧州 CRA との共通性を有する IEC62443^{*1}を考慮したサイバーレジリエンスの構築を支援します。欧州 CRA では、2026 年 9 月から脆弱性の報告義務が適用される予定であるため、菱洋エレクトロは PSIRT(製品やサービスに対するセキュリティ対応チーム)の構築や運用、および SBOM(ソフトウェア部品表)の導入を伴走支援します。まずは現状のアセスメントを実施し、CRA 付属書 I と照らし合わせながら、実務で必要な対応を支援します。

● SBOM 作成・管理プラットフォーム導入支援サービス

欧州 CRA で求められる SBOM の作成・管理を効率化するため、環境構築から運用までをワンストップで支援します。SBOM ツールの選定にあたっては、複数のツールを比較・評価し、要件に合った最適なツールをご提案します。さらに、PoC(概念実証)を通じて有用性を確認し、ツールの運用トレーニングも提供可能です。

● セキュアハードウェアソリューションサービス

サイバーセキュリティ強化において、IEC 62443-4-2 に適合したデバイスを採用することは、自社開発の負担やコストの削減につながります。そこで、IEC 62443-4-2 認証済みのハードウェアや、IT と OT^{*2}の連携に必要なネットワーク機器(ファイアウォール、マネージドスイッチ、セキュアルーターなど)をご提案し、欧州 CRA 対応に向けたセキュリティ強化を支援します。

本サービスの詳細は下記をご参照ください

▶ [CRA 対応オールインワンソリューション | 菱洋エレクトロ株式会社 - 菱洋エンベデッドソリューション](#)

※なお本サービスは、お客様のセキュリティ状況から欧州 CRA 上のリスクの有無や程度を判断しまたその対応策を提示することとはせず、法律相談や法律事務を行うものではないことはご了承ください。

■ 主な特長

● 「何から始めればよいかわからない」に応える支援

まずは CRA 要求事項の確認からスタートします。担当技術チームが作成した SBOM 作成・管理についてのヒアリングシートを用いて、お客様のサイバーセキュリティ状況を整理し、SBOM をはじめとした必要な対応を明確にします。

^{*1}産業用オートメーションおよび制御システムのサイバーセキュリティを確保するために策定された国際標準規格。

^{*2}Operational Technology (オペレーショナル・テクノロジー)。工場やインフラなどの物理的な設備やプロセスを制御・監視する技術。

● お客様に最適なツールを提案

多様なツールの中から、お客様の環境や要件に合ったものを選定。複数のツールの比較・評価を行い、最適なソリューションをご提案します。

これらの支援は、2010 年に取り扱いを開始し実績を重ねてきた Trellix 製品をはじめとするセキュリティ対策ソフトウェアや、産業機器や組み込みシステムに特化した Windows Embedded OS、さらに日本・アメリカ・ドイツ・台湾などの国内外メーカーによる産業用マザーボードや産業用 PC などの組み込み向けボード・システムの導入経験を通じて培ってきた、製造業向け組み込み分野における豊富な知見を活かしています。製造業や組み込み機器に対する深い理解と実績を活かし、お客様の要件に合った CRA 対応を実現します。

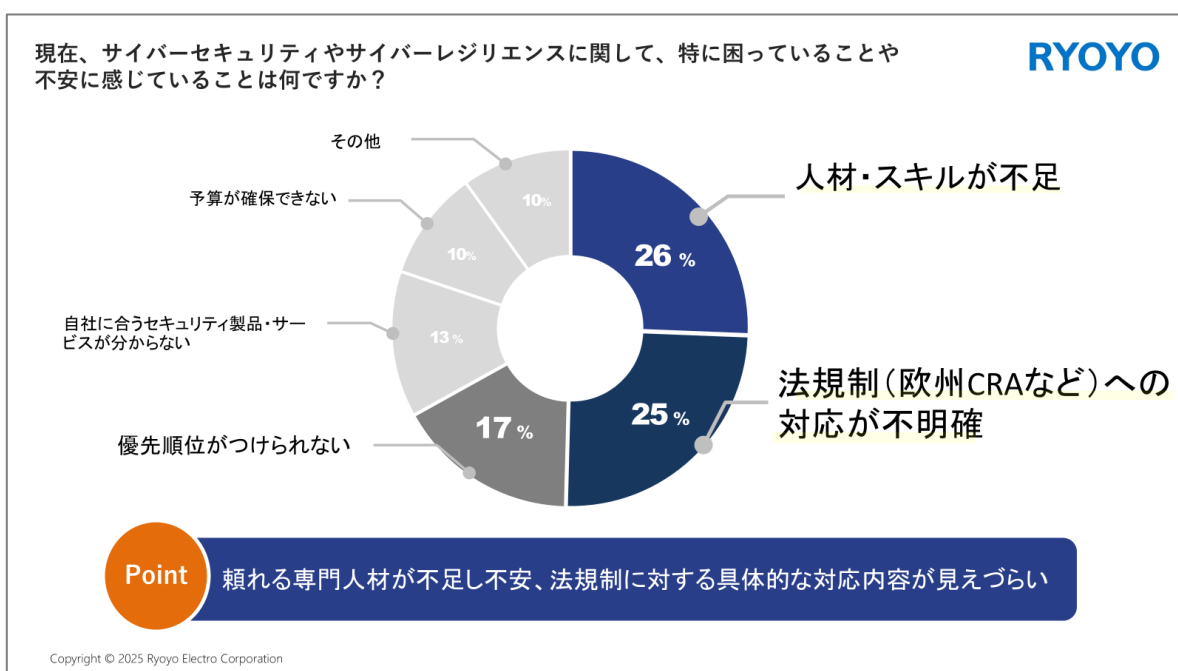
■ アンケート調査結果

菱洋エレクトロでは、2025 年 9 月に「自社プロダクトのサイバーセキュリティに関する WEB アンケート」を実施しました。本アンケートでは、製造業の製品開発部門に所属する方を中心に回答され、現場での対応に関する課題や不安が明らかになりました。

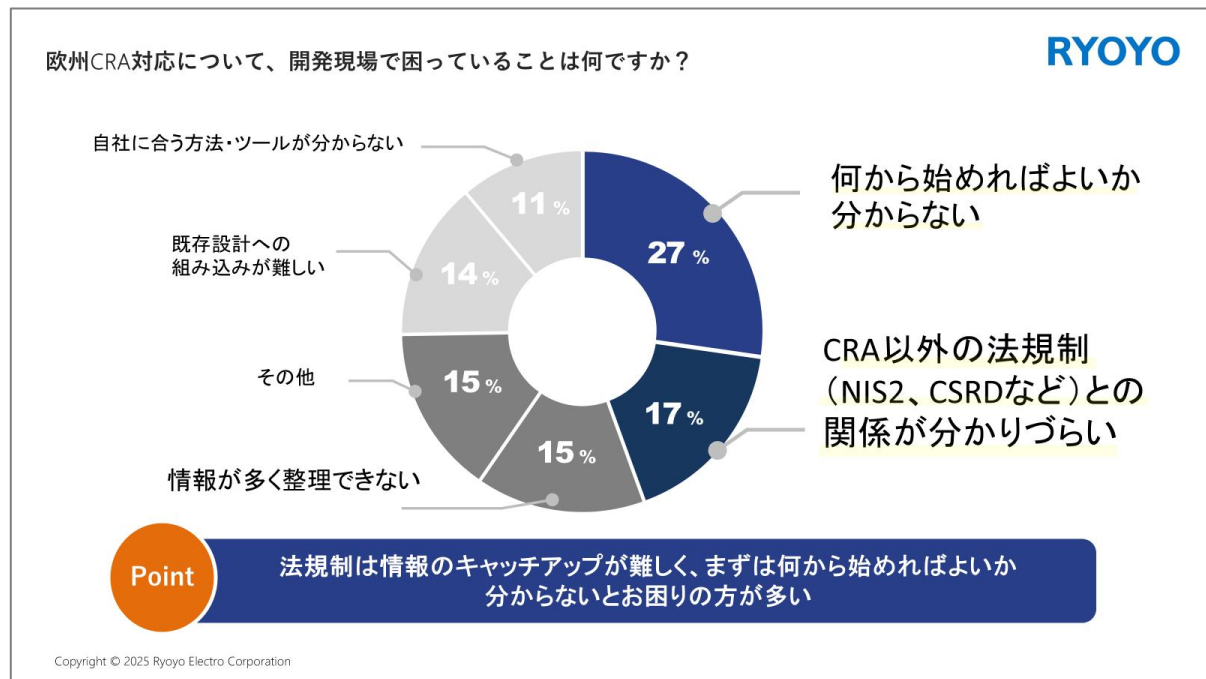
サイバーセキュリティやサイバーレジリエンス全体に関しては、「人材・スキルの不足」や「法規制への対応が不明確」といった課題が上位に挙がり、専門人材の不足や、各国で施行される法規制に対する具体的な対応方法が見えづらいといった現場の声が目立ちました。

また、欧州 CRA に関しては、「何から始めればよいか分からない」や「他の法規制との関係が分からない」といった声が多く寄せられ、**欧州 CRA に限らないセキュリティ関連法制度の解説**や、**それに基づく実務面でのサポート**が求められていることが明らかになりました。

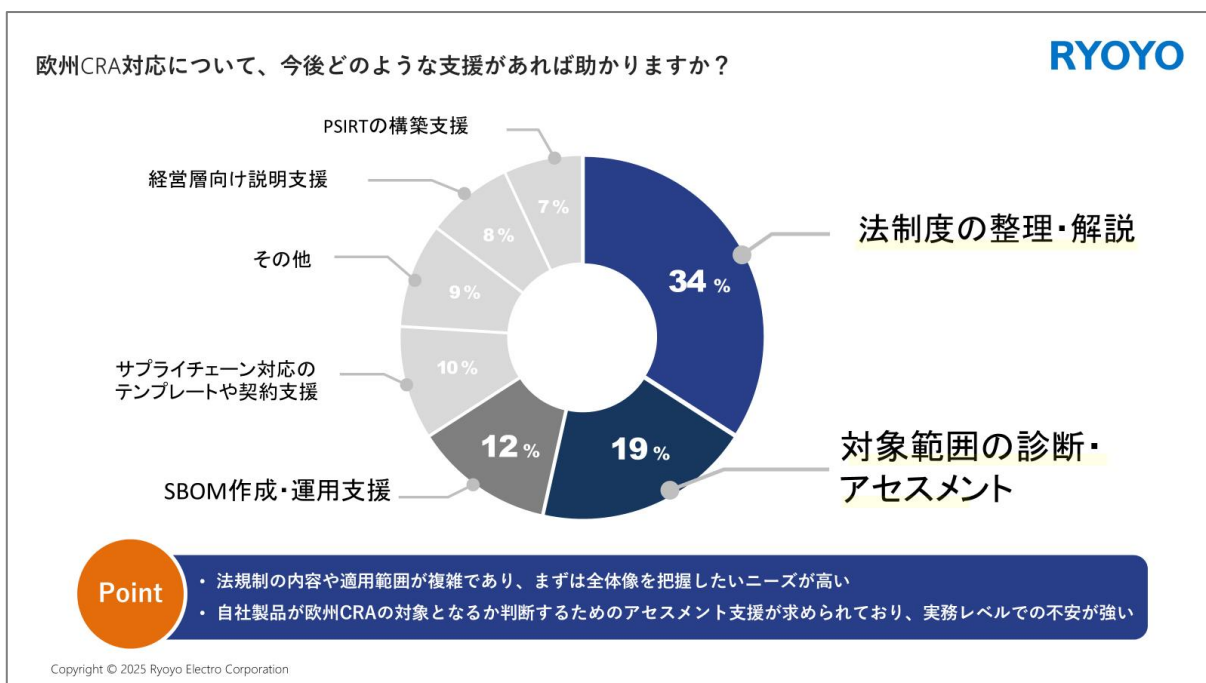
Q：現在、サイバーセキュリティやサイバーレジリエンスに関して、特に困っていることや不安に感じていることは何ですか？



Q：欧州 CRA 対応について、開発現場で困っていることは何ですか？



Q：欧州 CRA 対応について、今後どのような支援があれば助かりますか？



調査期間：2025年9月8日～2025年9月16日 対象：菱洋エレクトロのメールマガジンに登録している企業に所属する70名 手法：インターネットによるアンケート 調査主体：菱洋エレクトロ株式会社

■ 菱洋エレクトロについて

エレクトロニクス商社として、半導体・デバイスと ICT ソリューションの両軸を強みに、AI や IoT など次世代技術の実装を支援しています。製品販売に加え、コンサルティング、組み込み機器開発、設置、運用保守などのサービスを展開し、IT 環境の構築をまとめて支援することで、お客様の課題解決に取り組んでいます。



RYOYO

社 名 : 菱洋エレクトロ株式会社
代 表 : 代表取締役社長執行役員 中村 守孝
設 立 日 : 1961 年 2 月
株 主 : リョーサン菱洋ホールディングス株式会社
資 本 金 : 13,672 百万円
事業内容 : 半導体・デバイスの販売／ICT製品の販売／組み込み製品の販売／
上記に関わる設計・開発及び技術サポート／上記に関わる各種サービス
所 在 地 : 東京都中央区築地 1 丁目 12 番 22 号(コンワビル)
U R L : ▶[菱洋エレクトロ コーポレートサイト](#) ▶[リョーサン菱洋ホールディングス コーポレートサイト](#)
菱洋エレクトロはリョーサンと経営統合し、2024 年 4 月 1 日に「リョーサン菱洋ホールディングス株式会社」を設立しました

本件に関するお問い合わせ

リョーサン菱洋ホールディングス株式会社 企画本部 広報部

TEL : 03-3546-5003 Mail : pr@rr-hds.co.jp

本サービスに関するお問い合わせ

菱洋エレクトロ株式会社 ソリューション事業本部 第 6 ビジネスユニット

Mail : cspinfo@ryoyo.co.jp